

5 持続可能な社会基盤を整備する

(1) 広域交通基盤の整備・強化

＜主な取組状況＞

- 東三河、遠州、南信州地域を有機的に連絡し、県境を越えた広域的な連携と交流を生み出す**三遠南信自動車道**は、平成31年3月に**佐久間川合IC～東栄IC**(約6.9km)が**開通**し、国土交通省により事業の進捗が図られた。
三遠南信道路建設促進期成同盟会(愛知県は副会長)としては、平成30年7月10日、11月21日に整備促進に係る要望活動を行った。



平成30年11月21日の要望活動(国土交通省 池田道路局長)

- **国道151号(新城バイパス等)**、**257号(設楽町・バイパス整備等)**、**301号(松平バイパス等)**、**420号(設楽町・拡幅工事等)**、**473号(豊田市・拡幅工事等)**を中心に整備を行った。



国道151号新城バイパス

- **主要地方道豊橋乗本線、阿南東栄線、一般県道平畑土岐線**を始めとする県道の整備を行った。

(2) 公共交通の確保・充実

＜主な取組状況＞

- 三河山間地域における**路線バス**等を運行する市町村や企業に対して、その運行に要する**経費の一部を補助**することで、交通基盤の確保・維持に努めた。
- J R東海に対して、I Cカード乗車券の未導入区間の解消に努めるとともに、北設楽地域の玄関口である東栄駅への特急列車の停車を実施することや、サイクルトレインの試験導入や各種イベントを通じた**魅力ある沿線の地域づくり**への協力について積極的に取り組むよう要望した。

(3) 情報通信基盤の拡充とI C Tの利活用

＜主な取組状況＞

- 県内にある交通、宿泊施設、観光・防災拠点等へ**無料公衆無線L A N整備**の働きかけを行い、インターネットへ接続できるアクセスポイントを増やすことで、情報通信サービスの充実等を目的とした整備促進活動を実施した。
- **携帯電話基地局の整備**について、採算性の問題から携帯電話事業者の進出が進まない地区に対して、市町村と連携し、今後の不感地帯解消に向けて検討を行った。
- へき地医療拠点病院がへき地診療所の診療活動等を援助することを目的に設置した、**へき地医療拠点病院とへき地診療所**を繋ぐ**伝送装置**の運用に係る経費の助成を行った。

(4) 農地・森林等の整備・保全

<主な取組状況>

- 中山間地域における農業生産性の向上を図るため、**農業用の用水路や排水路等の生産基盤の整備**を行った。



農地環境整備事業 川口地区（設楽町）



農地環境整備事業 敷島地区（豊田市）

- **設楽ダムの水源地域の振興**を図るため、設楽町が実施する生活基盤整備等に係る事業への支援を行った。
- 植栽や間伐など適切な**森林整備**を実施した。
- **森林整備**に必要な**技術者の養成**を実施した。
- **内水面漁場の多面的機能の向上**を図るため、活動組織が実施する漁場保全活動への支援を行った。

(5) 産業用地開発と立地促進

<主な取組状況>

- 企業立地推進活動の一環として、東京や大阪において、首都圏・関西圏の企業を対象とした「**産業立地セミナー**」を開催した。
また、県内においても、県内企業を対象とした「**産業立地セミナー**」、「**産業立地・再投資促進セミナー**」等を開催することで、広く本県の立地環境や優遇施策等についてPRを実施した。



産業立地セミナー2018 IN 東京
(グランドプリンスホテル高輪:11月20日)

- 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業の推進を図った。



造成工事の一部が完成した東工区の状況

(6) 防災・減災対策の推進

<主な取組状況>

- 農業用ため池の決壊による災害を未然に防止するため、**堤体補強や耐震整備等**を行った。



緊急老朽ため池整備事業 折平新池地区 (豊田市)

- 豊田市や新城市などで**土砂災害防止施設整備**を実施し、このうち平成30年度は、徳定川第1支川（新城市）など7か所について施設整備が概成した。



施設整備が概成した徳定川第1支川（新城市）

- 市町村における**避難勧告等の基準**づくりや見直し作業、また、避難勧告等をはじめとした防災対応の判断基準となる防災気象情報等の活用支援のため**講習会**を実施した。



防災気象情報に関する講習会

（愛知県災害情報センター：【第1回】5月28日、【第2回】6月29日）

- **土砂災害防止法**に基づく基礎調査結果の**地元説明会**の開催方法について、一度に広い地域を対象として来場者の個々の事情に即した情報提供を行うことができる「**オープンハウス方式**」を導入し、周知・説明のスピードアップと住民の様々な疑問や相談に丁寧に応えていくことの両立を図っている。平成30年度は、岡崎市始め8市で30回開催した。



「岡崎市額田地区地元説明会」

(額田センターこもれびかん：12月2日)



「豊田市藤岡地区地元説明会」

(豊田市藤岡南交流館：1月20日)

- 大規模災害後の迅速な復旧・復興に備え、**地籍調査**に取り組む市町に対して豊田市、新城市、設楽町には財政的支援、また、そのうち平成30年度から新たに調査を始めた新城市には、調査に関する情報提供や関係機関との調整などの支援を行った。

- 山間部の環境・気象条件に慣熟して捜索・救助活動及び救急活動に万全を期すため、**山間部における昼間及び夜間の離着陸訓練**を実施した。
また、緊急運航時に地上消防隊と連携して捜索・救助活動及び救急活動を実施し、事案発生時における連携能力を相互に高めた。



防災ヘリコプター「わかしゃち」

(7) 再生可能エネルギーの導入推進

<主な取組状況>

- 「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会」を開催し、**農業用水を利用した小水力発電の推進**方策の検討や技術支援を行った。
- 県内の事業者に対して、循環型社会形成推進事業費補助金等による**未利用資源の活用**を促した。
- 市町村に対して、**住宅用太陽光発電施設等の導入**支援を行った。

あいち山村振興ビジョン 2020 年次レポート(令和元年度版)

令和元年 11 月

愛 知 県

山村振興推進本部（総務局総務部市町村課地域振興室）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6097（ダイヤルイン）

ファクシミリ 052-954-6981

電子メール chiiki-shinko@pref.aichi.lg.jp

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/>